



会津電力株式会社・アイパワーアセット株式会社

会社概要

2015年6月改定



会津電力 株式会社

2013.8 設立



会津電力株式会社 設立記念講演会



金子 勝氏 (国広義塾大学経済学部教授)

「地域分散ネットワーク型エネルギーが、地域を、世界を変えろ!」



末吉 竹二郎氏 (国広義塾大学経済学部教授)

「Green Bankの時代が来た!」



会社概要

会津電力株式会社

Aizu Electric Power Company

商号	会津電力株式会社		
所在地	本社：福島県喜多方市字天満前8845番地3 会津若松営業所：福島県会津若松市一箕町大字亀賀字郷之原328		
設立年月日	平成25年8月1日		
資本金	72,800,000円		
役員構成	代表取締役社長	佐藤	彌右衛門
	代表取締役副社長	山田	純
	専務取締役	磯部	英世
	常務取締役	折笠	哲也
	監査役	遠藤	由美子
電話番号	本社：0241-23-2500 会津若松営業所：0242-36-7719		
事業内容	1. 自然エネルギーを利用した発電事業及び電気・熱エネルギー供給事業 2. 自然エネルギー事業の設計請負及びコンサルティング業務 3. 自然エネルギー機器のリース・レンタル事業 4. 省エネルギー事業の設計請負及びコンサルティング業務 5. 自然エネルギー事業にかかる調査・研究・開発に関する業務 6. 自然エネルギーの活用と普及促進・企画・広報・運営に関する業務 7. 前各号に附帯関連する一切の業務		



会津電力株式会社 取締役プロフィール



佐藤 彌右衛門

代表取締役 社長

昭和26年喜多方市生まれ。東京農業大学短期醸造卒業後帰郷(資)大和川酒造店入社。
昭和58年無限責任社員就任 平成2年最新醸造蔵「飯豊蔵」建設移転。
平成17年代表社員就任 九代目佐藤彌右衛門に改名。ジザケジャパン(株)会長。プロジェクト会津(株)社長。
日本地酒協同組合理事長。NPO法人まちづくり喜多方、(社)ふくしま会議、(社)会津自然エネルギー機構
各理事を務める。



山田 純

代表取締役 副社長

昭和49年福島高校卒業。昭和53年東京大学工学部卒業後、松下通信工業(株)に入社。
平成10年クアルコムジャパン(株)の設立に当り入社。標準化活動、新技術開発、通信事業者及び
携帯端末メーカーへの技術支援などを担当。平成17年3月より同代表取締役社長。
平成21年3月より同代表取締役会長兼社長を経て、平成24年5月より特別顧問。



磯部 英世

専務取締役

昭和31年喜多方市生まれ。
喜多方商業高校商業科卒業。地元ゼネコンで土木・建築の営業及び施工監理の仕事に従事。
平成20年2月より(有)農業生産法人大和川ファーム代表取締役社長。
平成25年2月よりプロジェクト会津(株)常務取締役就任。喜多方市消防団副団長(第一支団長)。



折笠 哲也

常務取締役

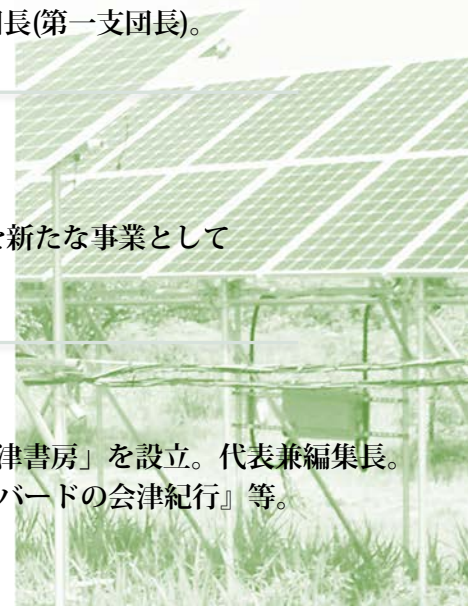
昭和46年会津若松生まれ。会津工業高校セラミック科第1期卒業生。
Panasonicにて通信、コンピュータ関係の仕事に従事。
その後、会津に戻り飲食業を営んでいたが原発事故を受け再生可能エネルギーを新たな事業として
取り組む事を決意。現在、会津太陽光発電(株)代表取締役。



遠藤 由美子

監査役

昭和24年大沼郡三島町生まれ。
平成9年、奥会津の文化の継承と発信を目的に、有志による出版グループ「奥会津書房」を設立。代表兼編集長。
主な出版物に『奥会津文化シリーズ』全5巻・『会津学』シリーズ・『イザベラバードの会津紀行』等。
(社)ふくしま会議理事・会津自然エネルギー機構理事。前福島県教育委員長。





理念

地域の資本と資源を活用し、安全で持続可能な再生可能エネルギーの普及を通して、多様な地域分散型エネルギーの創造と、その提供を通じて経済と文化の自立に向けた地域社会の創造を事業とします。

中期事業目標

中期（５カ年：平成２５年～平成２９年）事業の目標

1. 太陽光発電事業を多面的・広域的に展開し、継続的事業構築を行う
 - (1) 経営基盤を固める中規模（数百kW～１MW）事業の展開
 - (2) 小規模（５０kW未満）分散型事業の拡大
2. 会津地域における小水力発電事業の開発・事業化
 - (1) 事業適地の調査開発事業
 - (2) 数十～数百kW小水力発電の事業化
3. 会津地域における木質バイオマスエネルギー事業の開発・事業化
 - (1) 会津地域木質バイオマス資源の調査事業
 - (2) バイオマス発電の事業化
 - (3) 木質バイオマス熱利用の事業化検討
4. 会津地域における地熱・温泉熱発電の可能性調査事業
5. 会津地域における風力発電の可能性調査事業



第一期（H25～H26）事業計画

第1期事業は、発電事業のベースを早期に立上げるため、総合的な事業リスクが小さくかつ短期間で設計施工のできる太陽光発電事業に注力した。

会津電力株式会社

Project名	場所	発電容量	総事業費	1年目年間発電量 見込み	売電単価
雄国 発電所	喜多方市熊倉町 新合字休石	1,000 kW	371百万円 (260百万円) ※税込み	約963,000 kWh	36円/kWh ※税抜き
飯豊蔵 発電所	大和川酒造 飯豊蔵屋根	35kW	10百万円 ※税込み	約33,000 kWh	40円/kWh ※税抜き

注：雄国事業費()内は、補助金差引額

アイパワーアセット株式会社

Project名	場所	発電容量	総事業費	1年目年間発電量 見込み	売電単価
岩月 発電所	喜多方市岩月町宮津 字家ノ西7032番地	300 kW	95百万円 ※税込み	約289,000 kWh	36円/kWh ※税抜き
小規模 発電所	会津地域内 (50kW×20箇所)	1,150 kW	365百万円 ※税込み	約1,108,000 kWh	



雄国ソーラーパーク事業 概要

第一期事業の中心事業として建設された雄国発電所は、地域市民や子供たちへの再生可能エネルギー普及啓発拠点として整備されました。

この目的のために「福島県市民交流型再生可能エネルギー補助金」に採択され、福島県のシンボル事業の一つにも位置づけられるものであります。

将来は、隣接する農地における6次化事業とも連携して多くの市民の交流の場としても活用していくことを構想しております。

- ・ 設置場所 喜多方市熊倉町新合字休石地内
- ・ 敷地面積 26,707 m²
- ・ 発電設備容量 1MW
- ・ パネル枚数 270W × 3,740 枚
- ・ 年間予想発電量 963,600kWh（一般家庭約300 世帯分相当）
- ・ 設備利用率（見込み） 11%
- ・ 設備稼働開始 平成26年10月28日
- ・ 総事業費 3億7千1百万円（一分補助金を活用）
- ・ 資金調達計画 地域金融機関等融資、
経済産業省「福島県市民交流型再生可能エネルギー導入促進事業補助金」
（平成25年10月交付決定）
- ・ 特徴 体験学習施設を併設し、地域の子供達や一般市民に再エネへの関心を共有できるような体験学習を実施する

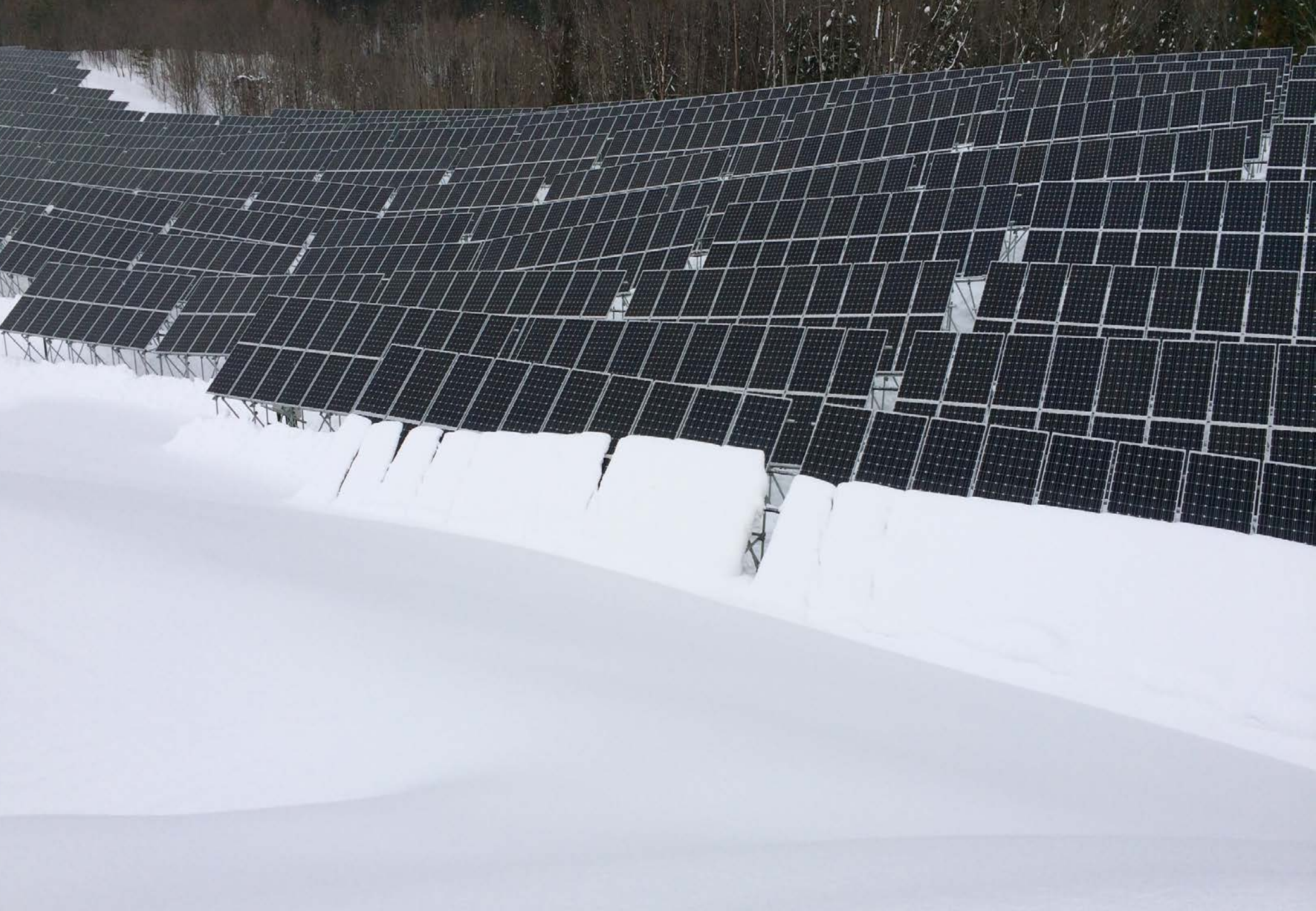


雄国太陽光発電所／体験型学習施設「雄国大學」



雄国発電所から望む喜多方田園地帯







小規模分散型

- ・未利用地の活用
- ・各地域に分散設置
- ・災害時等非常用電源として
各地域で活用が可能



積雪対応施工

- ・積雪地でのモデル事業化
…福島東北積雪地への展開
- ・パネル設置高・角度最適化
- ・パネル構造の工夫
- ・実証実験による確認



小規模分散型太陽光発電所の例



冬期間の雄国発電所





小規模（50 k w）発電所建設風景



岩月発電所

会津電力・アイパワー第一期・第二期建設 太陽光発電所地図



第一期 24 カ所

アイパワーアセット株式会社

1. 岩月太陽光発電所 (250kW)
2. 長井山田発電所
3. 南前林太陽光発電所
4. 高郷町塩坪発電所
5. 高郷町夏井地区太陽光発電所
6. 南会津川島第二発電所
7. 養鱒太陽光発電所
8. 一箕町太陽光発電所
9. 熱塩太陽光発電所
10. 西羽賀太陽光発電所
11. 神指北四合太陽光発電所
12. 神指町発電所
13. 下郷ゴルフ場太陽光発電所
14. 南会津川島第一発電所
15. 北会津地区上米塚地区太陽光発電所
16. 門田ノ堰地区太陽光発電所
17. 猪苗代町若宮太陽光発電所
18. 南会津川島第三発電所
19. 境野太陽光発電所
20. 塔寺太陽光発電所
21. 岩月第二太陽光発電所

会津電力株式会社

22. 雄国太陽光発電所 (1000kW)
23. 飯豊蔵太陽光発電所
24. 岩月第三太陽光発電所

第2期 24 カ所

野立て

25. 河東町東長原太陽光発電所
26. 湊町赤井太陽光発電所
27. 会津美里町下堀太陽光発電所
28. 猪苗代町吾妻山太陽光発電所
29. 猪苗代町名家太陽光発電所
30. 上三宮町太陽光発電所
31. 豊川町米室太陽光発電所
32. 昭和電工太陽光発電所
33. 南会津町田部太陽光発電所
34. 中央土地改良区第一太陽光発電所
35. 中央土地改良区第二太陽光発電所
36. 中央土地改良区第三太陽光発電所
37. 中央土地改良区第四太陽光発電所
38. 河東町八田大野原太陽光発電所
39. 会津美里町旭寺入太陽光発電所
40. 会津美里町旭館端太陽光発電所
41. 北塩原村松陽台太陽光発電所

屋根

42. 三島町高齢者福祉センター太陽光発電所
43. 三島中学校太陽光発電所
44. 三島町交流センター太陽光発電所
45. 旧上郷小学校太陽光発電所
46. 南会津町塩ノ原太陽光発電所
47. 群岡中学校太陽光発電所
48. 北塩原活性化センター太陽光発電所



会津電力・アイパワーアセット 太陽光発電施設地図

H28年2月現在

太陽光発電施設数 48件
設備認定容量合計 3,877kw

(内訳)

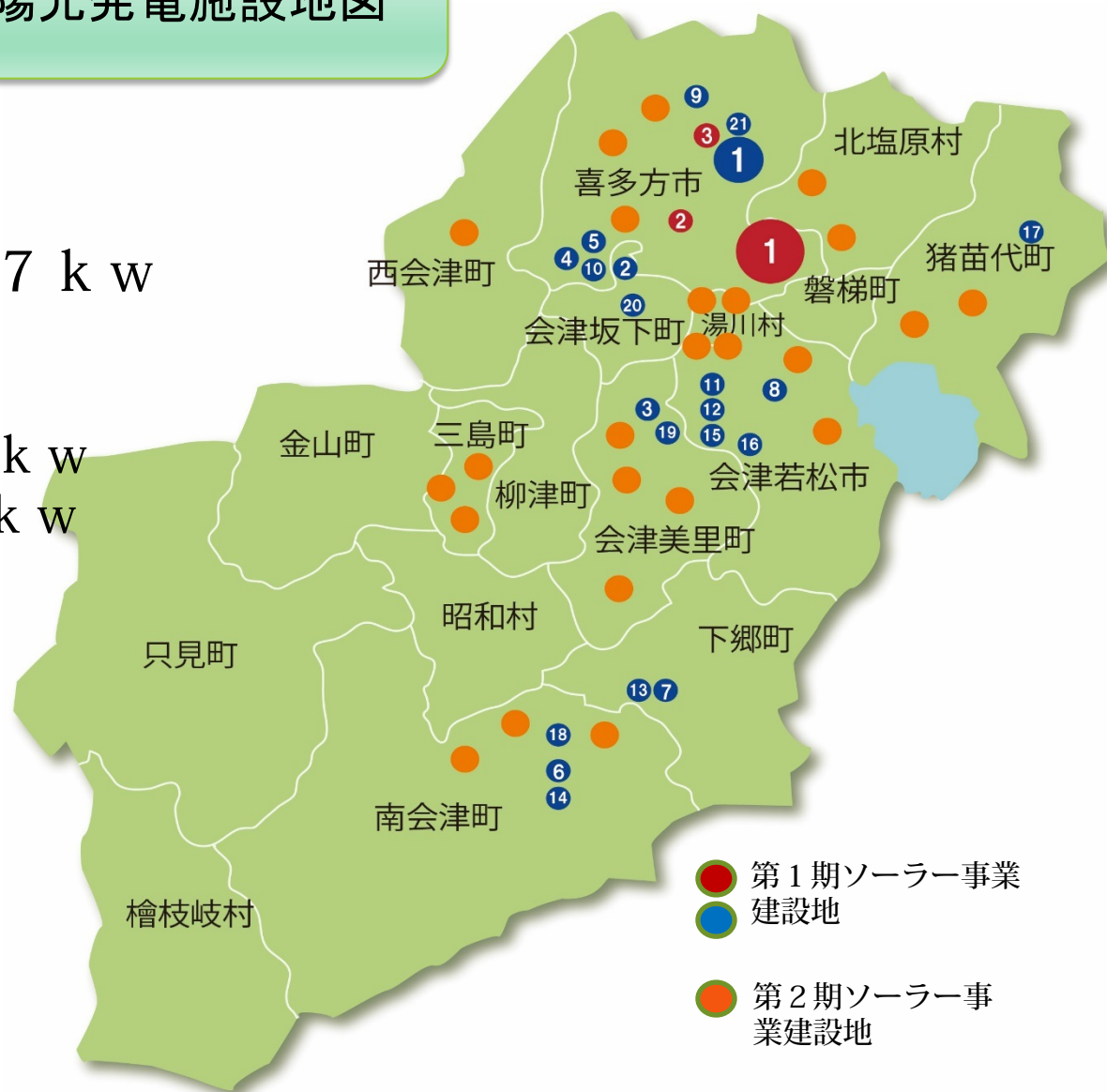
・ 50kw以上	4件	1,850kw
・ 50kw以下	44件	2,027kw

■第一期（H26年度）建設分 2,327kw

・ 50kw以上	2件	1,250kw
・ 50kw以下	22件	1,077kw

■第二期（H27年度）建設分 1,550kw

・ 50kw以下	24件	1,049kw
・ 50kw以下から50kw以上へ増設2件 (2件で99kwから600kwへ増設)		



太陽光 事業

◆第一期
小規模発電所
23カ所建設終了

◆第二期
小規模発電所
23カ所建設予定

小水力 事業

◆適地調査中

調査項目

- ・流量
- ・落差
- ・水利権

風力 事業

◆適地調査中

- ・風況調査
- ・環境への配

森林 事業

「森のコンビニ」開設計画

三島町森林組合と連携し

- ・ペレットストーブ設置
- ・チップ、薪等の販売
- ・伐採器具の貸出
- ・技術提供



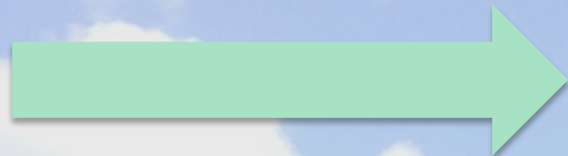
会津電力株式会社は 公共的株式会社

出資者は個人、企業
自治体、銀行(個人株主
30数名、リオンドール、
ゼビオ、エフコム、磐
梯町、猪苗代町、西会
津町、北塩原村、東邦
銀行、福島銀行、会津
信金、商工信金等)

平成27年5月現在の資
本金 7,280万円²²



AIPOWER



飯舘電力

- 会社設立時支援
- 太陽光発電事業技術支援



飯館電力が発電開始

太陽光
パネル設置

村民出資で産業創

東京電力福島第1原発事故で全村避難が続く飯館村で、村民らが出資して設立した地域電力会社「飯館電力」は21日、太陽光発電を開始した。村民による産業創出の第一歩を踏み出した。

▲
原発事故で避難区域に指定され、ほとんどの住民が避難する飯館村で、発電を開始した「飯館電力」の太陽光発電施設

同村の特別養護老人ホーム「いいいてホーム」の敷地に設置された太陽光パネルで発電をスタート。出力は49・5キロワットで、年間発電量は一般家庭15世帯分に相当する。発電した電気は東北電力に売電する。20年間で1千万円の利益を見込んでいる。

飯館電力の千葉訓道専務は「太陽光発電所を2号、3号機と増やしていきたい」と

と抱負を語った。と抱負を語った。電事業を行うた供や出資を村民けながら、発電を計画しておりなども視野に入同社は村内でいた小林稔社、会津電力(喜多資)、昨年9月太陽光パネルを地は、村と20年約を結んだ。





合同シンポジウム

平成26年8月23日会津大学大講義室にて

会津自然エネルギー機構 主催 ふくしま再生可能エネルギー事業ネット・全国ご当地エネルギー協会 共催